

# 作業学習における働く意欲や関心をもち、 自分らしい生き方を考えられる生徒の育成

—進学先や地域の働く人との交流や振り返り活動の工夫を通して—

特別研修員 特別支援教育 森田裕子（特別支援学校教諭）

《目指す生徒像》

働くことに意欲や関心をもち、自分のできることを考えながら作業学習に取り組む生徒

〔授業実践〕 作業学習

単元名「ペットボトルリサイクルをしよう」

## 手立て1

### 進学先や地域の働く人との交流の設定

意欲関心 自己有用感 UP

- 意欲を高め、自分ができていることを考えるために動画を介して**進学先の先生からのアドバイス**をもらう**機会**の設定



- 実際に企業を訪問し、**社会生活とのつながり**を**考えるための交流**の設定



### <生徒の実態>

- 作業学習と将来へのイメージをつなげにくい
- 行動に時間がかかる、思った通りにうまくできないと自信をもちにくい

## 手立て2

### 自他ともに本時の学習を振り返る活動の工夫

自己肯定感 UP

- 個に応じて**自分の得意な方法**で振り返る場面の**設定**



- 生徒同士で本時の活動を録画した**動画をすぐに見返し**、**認め合える活動**の設定



### <教師の願い>

- 自分たちが行っていることが、社会の役に立っていることに気付いて欲しい
- どのような小さなことでも、自分でできること(自分らしい生き方)を生かして、活躍して欲しい

## 成果

- 生徒たちは、進学先や地域の働く人との交流を通して、自己有用感が高まり、自分ができている工夫を考えてやってみようとする姿が見られるようになった。
- 作業後すぐに自分や友達の様子を動画で振り返る場面を設定したことで、自分の取り組みを思い出して自信をもって評価したり、友達のよかったところを互いに伝え合ったりすることができた。そのことから、自己肯定感が高まり、自分ができていることを頑張ろうとする(自分らしく生きる)姿につながった。

## 課題

- 今後は作業学習を自分の社会生活に結び付けて働く意欲の向上を高めたり、自分ができていること(自分らしい生き方)につなげたりすることができるように、家庭との連携を深めていくことが大切と考える。